

武蔵国分寺跡資料館だより

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

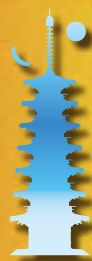
編集・発行・印刷

見る／学ぶ／訪ねる／
武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

【住所】〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10
【電話】042-323-4103 【FAX】042-300-0091
【E-mail】museum@city.kokubunji.tokyo.jp
【HPアドレス】
http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html

2017.2
第29号



第2回 国分寺市・坂戸市 合同企画展 ～路でつながる古代の国分寺と坂戸～

東山道武蔵路とともに生きる

「路」の字：坂戸市宮町遺跡出土「路家」墨書より

ごあいさつ

今から1400年前の7世紀、日本は中央集権国家を目指し、変革の時代をむかえます。変革の内容は多岐に渡りますが、その一つに都と地方を結ぶ幹線道路（官道）の整備があげられます。

かつて、国分寺市と坂戸市は、南北に縦走する「東山道武蔵路」と呼ばれる官道で結ばれていました。当時の人々は、それらを介して密接に関わりをもちながら歩んできた歴史があります。

本展は、国分寺市と坂戸市で調査された、東山道武蔵路と周辺の遺跡をテーマとし、連携事業として開催いたします。様々な出土資料をとおして、両市の歴史と文化の一端に触れていただければ幸いです。

本展開催にあたり、ご協力いただきました関係者各位に深く感謝申し上げます。

国分寺市教育委員会 坂戸市教育委員会

国分寺市会場

- 会場 武蔵国分寺跡資料館講座室
(東京都国分寺市西元町1-13-10)
- 期間 平成29年1月14日(土)～3月12日(日)
- 開館時間 午前9時～午後5時(入館は4時45分まで)
- 入場料 おたかの道湧水園への入園料
一般…100円(中学生以下無料) 無料
- お問い合わせ先 武蔵国分寺跡資料館
TEL 042-323-4103

※坂戸市会場は終了しました

■ 展示の主な構成 ■

- ◇ 古代道路沿いの風景
- ◇ 大規模集落の実像を探る
- ◇ 道と暮らし、そして祈り

展示会場では、本企画展のリーフレット(全8頁)を無料配布します。
(※数に限りがあります)



国分寺市
武蔵国分寺跡北方地区(調査区合成)
〈国分寺市教育委員会〉



坂戸市
林蔭遺跡3区
〈坂戸市教育委員会提供〉

第2回の展示では、両市内の東山道武蔵路周辺で発見された大規模集落などの調査成果をもとに、道と人との関わりをパネルや出土資料を通じて紹介します。

(増井 有真)



道沿いの祭祀で使用された墨書土器
西元町地区(旧第四小学校跡地)出土
〈国分寺市教育委員会〉



おたかの道湧水園内にイチョウベンチを設置しました

平成 28 年 11 月 6 日、おたかの道湧水園内に、イチョウの木で作ったベンチを設置しました。このベンチの材料は、現在保存修理工事を行っている旧本多家住宅長屋門の側に生えていたイチョウの木で、建物の長期的保存を図るため伐採したものを再利用しています。

イチョウベンチができるまで

イチョウベンチは世田谷区次大夫堀公園民家園ボランティア「木挽きの会」により製作されました。まず二本の丸太となったイチョウの木の皮をむいて二ヶ月ほど乾燥させた後、木挽きという昔ながらの技法で加工しています。木材の真っ直ぐな形状を活かした丸みのある座面と丸太状の脚をカスガイで繋いでいるのが特徴で、このカスガイも同ボランティアの「鍛冶の会」による手作りのものです。



長屋門（右側）脇にあったイチョウ



乾燥中の皮をむいたイチョウ
(世田谷区教育委員会提供)



「鍛冶の会」手作りのカスガイ

イチョウベンチの設置場所

四つのイチョウベンチはそれぞれ武蔵国分寺跡資料館入口付近・テラス、湧水観察ポイント付近に設置しています。ご来園の際には是非ご利用ください。

(石井 秀和)



カスガイを打ち座面と脚部を固定する様子



「木挽きの会」皆さんと世田谷区・国分寺市職員の記念写真



館入口付近



湧水観察ポイント付近



テラス

長屋門保存修理工事の進ちょく状況報告

平成 27 年 11 月から、おたかの道湧水園入口にある市重要有形文化財（建造物）日本多家住宅長屋門の保存修理工事を行っています。平成 28 年 3 月までに建物の解体調査、基礎部分の発掘調査を終え、その後、基礎工事、礎石の据付を行いました。そして、膨大な量の解体した部材について、細かな調査と修復を行いました。工事では、既存の部分をも最大限活用し、傷んだ箇所には、新しい木材を継ぎ足しており、どうしても再利用が困難なものだけ、まるごと新しい木材に入れ替えます。そうして修復した部分を使用箇所ごとに整理して、平成 29 年 1 月から、解体前と同じ位置で建物の組み立てを開始しています。

現在、建物は骨組みが出来上がった状態ですが、引き続き屋根や土壁などの工事を行って平成 29 年 9 月の完成を目指します。今後もしずれかの機会に、見学会等を開催する予定です。皆様の御理解と御協力をお願いします。

【長屋門上棟式の開催報告】

平成 29 年 1 月 29 日（日）の午前中、日本多家住宅長屋門保存修理工事の上棟式を開催しました。

上棟式とは建物の骨組みを組み上げ、一番上の棟木を設置する際に関係者への感謝の意を表し、その後の工事と建物の安全を祈願する建築儀礼です。

当日は上棟式の象徴ともいえる一本の幣串、魔除けを表す二組の弓矢を棟木の上に飾り、次のような流れで儀式を再現しました。

- 酒・塩・米を長屋門の四方へ撒く「四方固め」。
- 北多摩陸消防組第二区二番組による「祝い木遣り」。
- 参加者全員で棟木に結ばれた綱を引き上げる「曳綱」。
- 建物に槌で棟木を打ち込む「槌打ち」。
- 建物上から紅白の餅や菓子などを撒く「餅撒き」。
- 大工の棟梁の家まで幣串を届ける「棟梁送り」。ここでも北多摩陸消防組第二区二番組による木遣り唄が披露されました。今回は略式として、長屋門前から南へ進み、元町通りを往復しました。

市外文化財めぐり実施報告

平成 28 年 11 月 19 日（土）に市外文化財めぐりを開催し、市内の 45 名が参加しました。今回は群馬県高崎市を訪れ、上野国分寺跡・かみつけの里博物館・群馬県立歴史博物館の 3 か所をまわりました。あいにくの天気ですが、参加者の皆さんは熱心に各施設でボランティアさんや職員の方の丁寧な説明に耳を傾け、見学を楽しみました。



解体前の長屋門二階・小屋組（西から）（平成 26 年 12 月撮影）



上棟式での「槌打ち」



上棟式での「棟梁送り」



上野国分寺跡・塔の基壇跡地の見学

INFORMATION

ぶんバス「万葉・けやきルート」が新たに開通しました

平成 28 年 12 月 26 日、国分寺市循環バス『ぶんバス』『万葉・けやきルート』が新たに開通しました。このルートは、東恋ヶ窪三丁目から国分寺駅、西国分寺駅を経て、「史跡武蔵国分寺跡」を結びます。武蔵国分寺跡資料館へお越しの際はぜひご利用ください。

おたかの道湧水園・武蔵国分寺跡資料館 臨時休園・休館のお知らせ

おたかの道湧水園と武蔵国分寺跡資料館は、市重要有形文化財（建造物）日本多家住宅長屋門の保存修理工事のため、平成 29 年 4 月 15 日（土）を臨時休園・休館といたします。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

平成28年度の史跡整備工事

現在、市では史跡武蔵国分寺跡を歴史公園として活用するための整備工事を行っています。平成28年度は中門跡・鐘楼跡の周辺を対象としています。

中門は、金堂などの主要建築物を囲む塀の南面中央に設けられていた門で、鐘楼は時を告げる梵鐘を納めた建物です。武蔵国分僧寺は南門・中門・金堂・講堂が一直線に並び、鐘楼と経蔵を東西対称の位置に建てた伽藍配置となっていました。

工事では遺構の様子を地面に平面表示し、寺院の境内を飾る布である幡を掲げるために設けられた幢竿の立体表示も行います。また、照明灯を新たに設けるなど、公園としての環境も整備します。



礎石原石
鐘楼跡の工事風景（北から）



中門跡の工事風景（北から）



武蔵国分僧寺跡の全景空中写真（南から、平成19年）

来館者数

2009年10月18日～2016年12月末日

来館者数累計 103,463名

多くのご来館ありがとうございました

【10月～12月の学校見学】

<市内>
〔学年〕、〔人数〕、中＝中学生、高＝高校生、第二小学校〔小3〕(135)、第五小学校〔小3〕(82)、第七小学校〔小3〕(67)、第八小学校〔小6〕(64)、東京経済大学(3)

月	来館者数	開館日数
10	1,024	26
11	1,650	26
12	799	24
計	3,473	76

<市外>
東京農工大学(22)、創価大学(32)

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



- 交通のご案内 ※駐車場はありません
- 【電車】○JR国分寺駅下車／徒歩約20分 ○JR西国分寺駅下車／徒歩約15分
 - 【バス】○国分寺市循環バス「ぶんバス」万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車／徒歩約8分
○国分寺市循環バス「ぶんバス」日吉町ルート「泉町一丁目」下車／徒歩約8分
○国分寺駅南口より「京王バス」系統番号(寺83)・(寺85)乗車「泉町一丁目」下車／徒歩約8分

■ 開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時45分まで）

■ 休館日

毎週月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）
年末年始（12月29日から1月3日まで）
※展示替えなどで臨時休館することがあります。

■ 入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。（入園券は史跡の駅で販売）
一般……………100円（年間パスポート1,000円）
中学生以下……無料

【入園料の減免規則があります】

- 学校の教育活動で生徒（中学生を除く）、学生及び引率の教職員が入園するとき〔事前（5日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
 - 身体障害者及びその介護者が入園するとき〔発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。〕
 - その他教育長が特別の理由があると認めるとき〔事前（5日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
- ※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。



ホームページQRコード